

F D news

Faculty Development



vol.7

〈発行日〉2021年9月
〈発行者〉上智大学FD委員会

FD委員長・副委員長からのご挨拶

2021年度春学期 EMI-Share 実施報告

「新しい学び」実践ワークショップ
～創立記念プログラムのご紹介～

2021年度春学期 開講授業 Tips集

2021年度春学期
全学共通科目授業アンケート 集計結果

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

FD委員会委員長挨拶 伊呂原 隆

上智大学の学則第3条では、「本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自己点検及び評価を実施するものとする。」としたうえで、第3項において、「本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得又は向上を組織的に支援するためにファカルティ・ディベロップメント活動を実施するものとする。」と定めています。当FD委員会は、このファカルティ・ディベロップメント活動を実施することを主たる任務としています。



その教授法や授業運営については、昨今のコロナ禍において特に大きく注目されることとなりました。Zoomを利用した同時双方向型授業、オンデマンド授業、ハイフレックス授業等々、多くの教員にとっては、コロナがなければ生涯に渡り無関係とも思えた授業方法を即座に実施することが求められました。大きな不安を抱えたまま授業が始まり、教育効果や学生の満足度について半信半疑の状態で行き詰まりを繰り返しつつ新たな方法の模索が今も続いています。

実際にオンラインを活用してみて初めて見えてきたことが数多くあるように思います。例えば、大人数の講義形式から少人数のゼミ利用まで幅広く対応可能な同時双方向型、難解な箇所を自分のペースで繰り返し聴くことにより理解を深められるオンデマンド型、これまでは考えたこともなかった対面授業ならではの価値や効用等が挙げられるかもしれません。

今後、コロナが終息しても、コロナ前の状態に単純に戻ることはなく、対面とオンラインの効果的な新たな活用方法が必要になってくるでしょう。このように先を見通しにくい状況では教員同士が互いに有益な情報を共有し、改善を継続していくことが益々重要になってくるものと思います。

本学では今年度から新しい質保証体制がスタートしました。これまで以上に教育水準の向上を図り、社会的使命を達成することが強く求められてきます。FD委員会では、よりよいファカルティ・ディベロップメント活動を実施していくべく努力を積み重ねてまいりたいと思いますので、教職員の皆様の一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

2021年度春学期 EMI-Share 実施報告

日程	テーマ	講師／ファシリテーター
2021年5月28日	Sharepoint: Ideas for HyFlex	李 ウォンギョン（グローバル教育センター） 逸見 シャンタール（言語教育研究センター）
2021年6月23日	Reducing anxiety for students in coursework	Edyta Dzieminska（理工学部） Graham Mackenzie（言語教育研究センター）
2021年7月14日	Sharepoint - Tips for active learning in online and Hy-flex classes	川西 諭（経済学部） Graham Mackenzie（言語教育研究センター）

FD委員会副委員長挨拶 田村 恭久

2020年以降、世界中の大学は大きなチャレンジに直面しています。コロナウィルスによる対面授業のリスクが取り沙汰され、準備が十分でない状況でオンライン授業やハイフレックス授業を実施せざるを得なくなりました。一方で、古代ギリシャから連綿と受け継がれてきた教育や学習といった活動が、現代において「対面であること」を必要条件としているのか、という本質的な問いを考えるきっかけにもなりました。

この問いは、OECDのDeSeCo(1997年～)やその後続プロジェクトで議論されている「現代に求められている教育とは何か」「何のための教育なのか」という問題提起とつながる部分があります。知識や情報の伝達や吸収だけが授業の目的ではなく、学生が獲得した情報、知識、概念を使いこなす、社会の持続的な発展のために役立てていく能力の育成も重要です。また、多様な意見が混在する社会のなかで、自分の意見を述べ、他者の意見を受け入れ、共通点や相違点を認識しながら問題を解決していく能力も求められています。現代の大学は、知識や情報の伝達だけでなく、こういった能力を授業においてどのように育成していくのが問われています。

初等中等教育では、中央教育審議会が「今後育成すべき資質・能力は何か」「これを踏まえた学習目標や学習内容は何か」が議論され、2017年に学習指導要領が改定されました。もうすぐ、この教育を受けた高校生が進学してきます。我々も今、上記の問題提起を受けて「現代の大学に求められている教育とは何か」を改めて考える必要があります。その一方で、そういった授業を実現するため、オンデマンド講義、アクティブ・ラーニング、ICTを用いた対話的活動など、様々な授業方法が利用可能になっています。「授業や単元の目標に合わせた授業方法の選択」は、ポストコロナの時代における大きなチャレンジテーマです。これからも、皆様と一緒に考え、議論し、上智の授業をより良いものにしていきたいと考えています。



「新しい学び」実践ワークショップ ～創立記念プログラムのご紹介～

日時 2021年11月1日(月) 11:15～12:45

実施方法 Zoom

言語 日英どちらでも参加可能

上智学院創立記念プログラムにおいて、FD委員会の主催で題記ワークショップを開催することとなりました。このワークショップでは、上記の「現代に求められている教育とは何か」を考える上での背景や、教員の皆様が担当される授業において利用できる様々な授業方法をご紹介します。また、参加者の皆さんがグループに分かれ、様々な授業方法を導入する際の問題点や解決方法の情報共有や意見交換を行います。さらに各々のグループからご発表いただき、得られた知見や解決すべき問題点を参加者全員で共有します。ご興味をお持ちの教職員の方々のご参加をお待ちしております。

2021年度春学期 開講授業 Tips集

2021年6月に「対面およびオンライン授業に関するアンケート」(結果概要は7月9日Sophia掲示板に掲載)をIR推進室が実施しました。以下に、このアンケートで寄せられた学生の声を一部ご紹介いたします。秋学期開講授業にお役立てください。(学外への公開はお控えください。)

オンデマンド授業

テスト・リアクションペーパー

- 授業内容の理解度テストは、自分が正解するまで受験できるようになっているので印象に残りやすかった。テストやリアベは動画を見れば次に進めるようになっているので、効率よく授業を進められた。
- リアクションペーパーとしてフォーラムのようなところに授業の感想や考えたことなどを書き込むようになってよかった。色々な人の視点や考え方が知れて興味深く、参考になった。「いいね」で反応することもできて楽しかった。

コンテンツ視聴の仕組み

- 動画を20分間隔に分けてくださっているので集中力が途切れにくかった。
- オンデマンド型を活かして、授業に関連のある映画を紹介しつつ、YouTubeへのリンクをスライドに貼り、それを個人で見るというのが面白かった。

同時双方向型授業

コミュニケーション

- Moodleのディスカッションボードや先生への質問投稿を通じて活発にやりとりが行われています。
- padletを用いて生徒とのコミュニケーションを大事にしながら「その場」でしかできない授業を行ってくれる。

休憩

- Zoomを使った授業は集中がつづきにくいですが、5分間の休憩を毎授業取ってくれていたため、途中でだれることなく授業を受けられた。

板書

- 画面共有を通して、先生が板書の代わりにキーボードで打つ文字を見ながら受講するが、ホワイトボードに手で書くより速く、フォントも統一されるため見やすい。

その他

- 対面で参加している学生とZoomで参加している学生を分けてグループワークを行い、どちらにとっても最適な授業をしていた。(ハイフレックス授業)
- 積極的に発言する機会が多く設けられており、受動的に知識を得るだけでなく、それを使ってディスカッションするなどして能動的に授業に取り組むことができた。
- 授業の始めに、授業の復習・課題の解説もしていただけるので、満足度がたかい。
- 課題について、授業の内容に対して自分でさらに調べたいと思ったことを調べ、まとめるというもので、授業内容の理解度を高められる内容であったことがとてもいいと思った。
- 資料に対して自分から疑問を持ち、調べて学習することで、受動的な授業スタイルよりも知識の定着を実感できた。

📢 学生からの声 授業アンケート 集計結果

2021年度春学期全学共通科目授業アンケートについて

このたび集計結果がまとまりました。ご協力下さった学生、教員の皆様に深く感謝申し上げます。

〔対象科目総数〕268科目(実数※267) 〔回答対象者数〕23,392名 〔回答者数〕8,245名 〔回答率〕35.2%

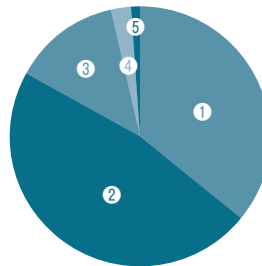
※登録コード・科目名が異なるが、担当教員・授業時間が同一の科目を実数と数える。

◆過去3回の推移

	2019年度・春学期	2020年度・秋学期	2021年度・春学期
対象科目総数	246 (実数242)	295 (実数291)	268 (実数267)
回答対象者数	19,457	20,719	23,392
回答者数	10,534	7,225	8,245
回答率	54.1%	34.9%	35.2%

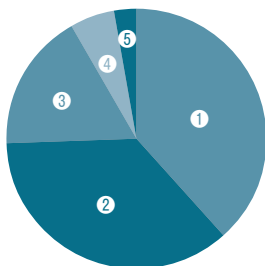
この授業を通じてシラバスで示された
到達目標(授業の目標)の知識・能力が身についた。

- ① とてもよくあてはまる (2,964) 35.9%
- ② ややあてはまる (3,895) 47.2%
- ③ どちらでもない (1,106) 13.4%
- ④ あてはまらない (192) 2.3%
- ⑤ 全くあてはまらない (88) 1.1%



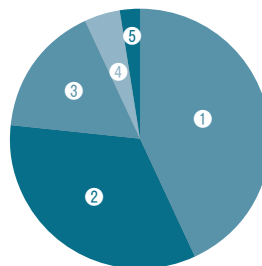
この授業を受けて知的に刺激され、
深く勉強したくなった。

- ① とてもよくあてはまる (3,161) 38.3%
- ② ややあてはまる (2,988) 36.2%
- ③ どちらでもない (1,412) 17.1%
- ④ あてはまらない (479) 5.8%
- ⑤ 全くあてはまらない (205) 2.5%



この授業の受講を検討している人がいたら、
勧めることができる。

- ① とてもよくあてはまる (3,557) 43.1%
- ② ややあてはまる (2,767) 33.6%
- ③ どちらでもない (1,349) 16.4%
- ④ あてはまらない (362) 4.4%
- ⑤ 全くあてはまらない (210) 2.5%



アンケート
集計結果の詳細

ご担当科目 : Loyola ⇒ アンケート/各種申込 ⇒ アンケート集計結果照会
全体総括 : FDホームページに掲載(10月中旬に掲載予定)
<http://www.fd-sophia.jp/education/survey/report.html>



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学 学事センター(FD推進担当)
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL.03-3238-3522 FAX.03-3238-3264
<http://www.fd-sophia.jp/>

